

ニホンジカ影響軽減対策の実施状況について

平成16年度においては、平成13年11月策定の「ニホンジカ保護管理計画」及びその後のニホンジカ保護管理検討会、森林生態系部会での議論等を踏まえ、ニホンジカによる植生への影響を軽減するため、西大台の七ツ池付近に防鹿柵を設置するとともに、ヒバリ谷斜面付近にラス巻きの新設、尾鷲辻付近の老朽化したラスの張り替え、個体数調整を実施した（個体数調整については引き続き実施予定）。

今年度は防鹿柵について、材料と費用等の検証を行うため、木柱と従来のFRP支柱を組み合わせたものを使用したところであり、今後その耐久性等を確認していく予定である。

1. 区域保護対策（防鹿柵）

1) 設置面積：4.06ha

2) 設置場所：七ツ池付近（図1）

3) 材 質：支柱—木柱*とFRP柱の組合せ**、 網—ステンレス

(*)木柱は、地元間伐材（ヒノキ）をローリング加工（径を揃える）した上で、当地が自然環境へ十分配慮すべき特別保護地区でもあることから、防腐剤を使用せず、人工乾燥、表面焼き付け処理、磨き加工を施したものを使用した。

(**)土質調査の結果をもとに、できるだけ木柱を使用。（木柱：FRP柱=536本(62%)：323本(38%)）。

4) 事業費：50,211千円

1m当たりの防鹿柵の設置単価（設置工事費等をすべて含む。）を参考までに算出したが、落札状況等により変動があるため単純な比較はできない。今後、耐久性・維持管理費等含めを中長期的に検証していく必要がある。

設置年度	材質	設置面積 (ha)	設置延長 (m)	工事費 (千円)	単価 (千円/m)
平成11年度以前		9.39			
平成12年度	耐雪格子柵	3.57	1,123.5	91,000	81
平成13年度	耐雪格子柵 (試験柵)	2.69 (0.02)	1,130.7	84,000	74
平成14年度	FRP	8.28	3,345.6	131,250	39
平成15年度	FRP	16.48	5,190.0	187,530	36
平成16年度	FRP+木	4.06	1,286.4	50,211	39
合計		44.49			

5) 維持管理

今年度は台風21号、23号などによる暴風雨被害（倒木による防鹿柵の破損等）が度々発生したが、吉野きたやま森林組合の協力を得て、被害箇所の確認と補修を迅速に実施した。今後とも、森林組合等の協力のもと、定期的な巡視を行い、必要な補修、維持管理をこまめに行っていく。

2. 単木保護対策（ラスまき）

1) 設置本数：2,500本（樹種の指定なし）

2) 設置場所：シオカラ谷斜面、尾鷲辻（牛石方向）（図2）

過去（平成8年）に設置したラスが老朽化するとともに、樹皮にくい込んでいる状況が見受けられたため、尾鷲辻付近（牛石が原方向）張替えを実施した。また、ヒバリ谷付近の樹木に新たにラス巻きを実施した。

3) 事業費：5,977千円

3. 個体数調整

1) 捕獲個体数 40頭（平成16年11月2日現在）

2) 捕獲方法別捕獲個体数

アルパインキャプチャー 13頭

麻酔銃 27頭

3) 性比別捕獲個体数

オス 14頭

メス 26頭

4) 捕獲作業状況

項目	調査期間	
ワナ設置	2004年4月19日	1日間
第1回捕獲	2004年4月20日～2004年4月22日	3日間
第2回捕獲	2004年5月25日～2004年6月4日	11日間
第3回捕獲	2004年7月5日～2004年7月12日	8日間
第4回捕獲	2004年8月7日～2004年8月12日	6日間
第5回捕獲	2004年9月13日～2004年9月18日	6日間
第6回捕獲	2004年10月25日～2004年11月2日	9日間

11月2日以降も引き続き実施（11月～12月及び平成17年3月を予定）。

→平成16年度の捕獲状況及び今後整理を進める各種データの分析結果等は本年度末の第2回ニホンジカ保護管理検討会（平成17年3月頃）に報告予定。



木柱



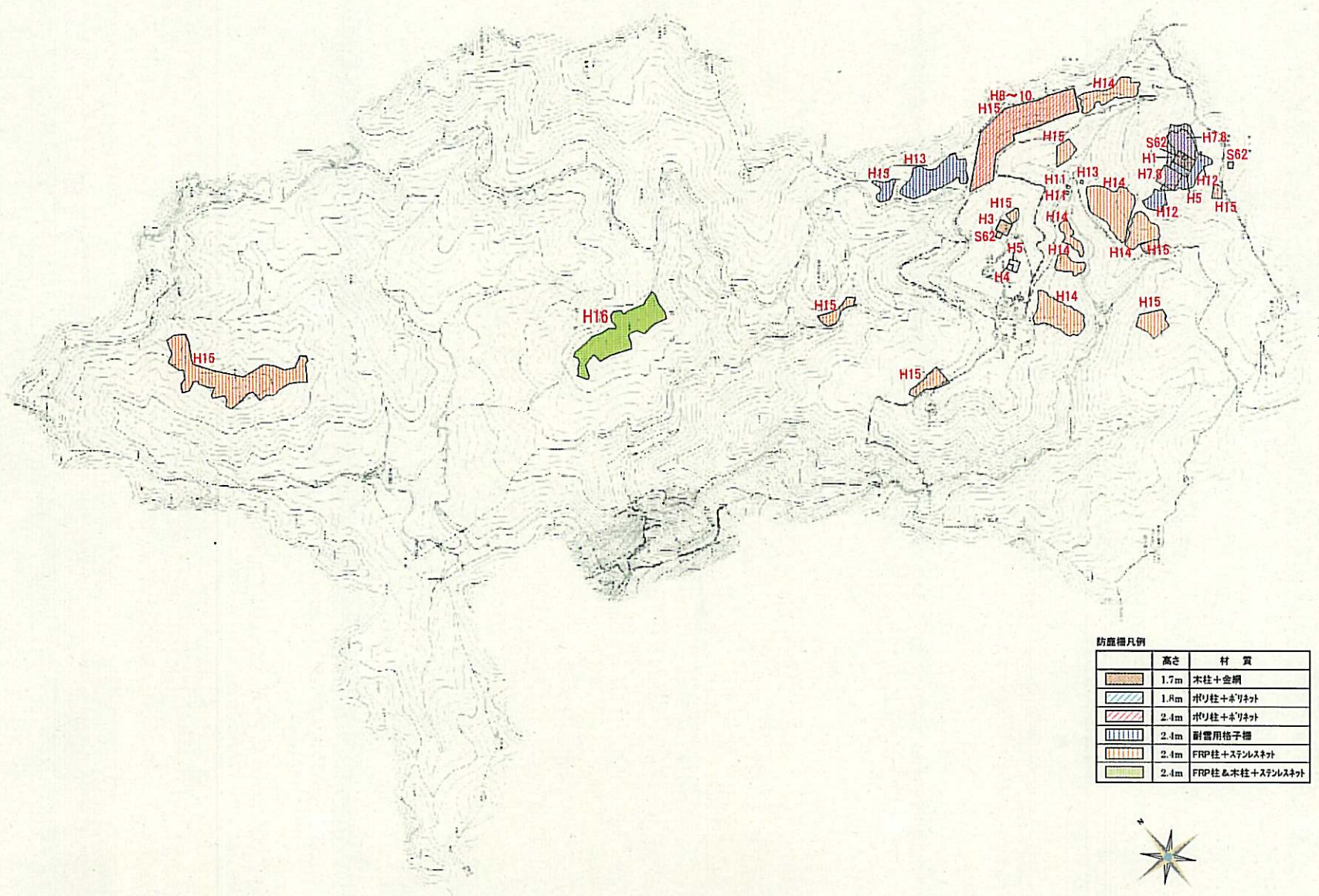
木柱



木柱+FRP

木柱

FRP



防塵柵凡例

	高さ	材質
	1.7m	木柱+金網
	1.8m	ポリ柱+ポリネット
	2.4m	ポリ柱+ポリネット
	2.4m	耐震用格子柵
	2.4m	FRP柱+ステンレスネット
	2.4m	FRP柱&木柱+ステンレスネット

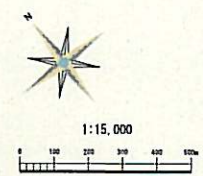


図1 区域保護対策実施位置図

ラス巻き凡例

	年度	本数	位置
■	H6	300本	不明?
		910本	正木峠
		840本	正木峠～尾鷲辻
■	H7	300本	歩道沿い
		710本	歩道沿い
		1,280本	中道
■	H8	1,200本	尾鷲辻～牛石方向
		530本	日出ヶ岳周辺
		415本	4カ所巴、中道中央、尾鷲辻、牛石
■	H9	1,860本	3カ所巴、中道中央(カ所)
		250本	2カ所巴、上道と中道の間部分
■	H10	1,877本	上道と中道の間部分 (■部はラスではなく、ガロンネット)
		1,300本	ビジターセンター下
		1,700本	中道コンクリート橋付近
■	H11	1,000本	コンクリート橋付近
		4,000本	シノノキの大本近 日出ヶ岳+尾鷲辻付近
■	H12	2,915本	大台教会下側
■	H13	3,023本	駐車場下
■	H14	3,000本	駐車場下
■	H15	2,500本	尾鷲辻～牛石方向+シオカラ谷斜面

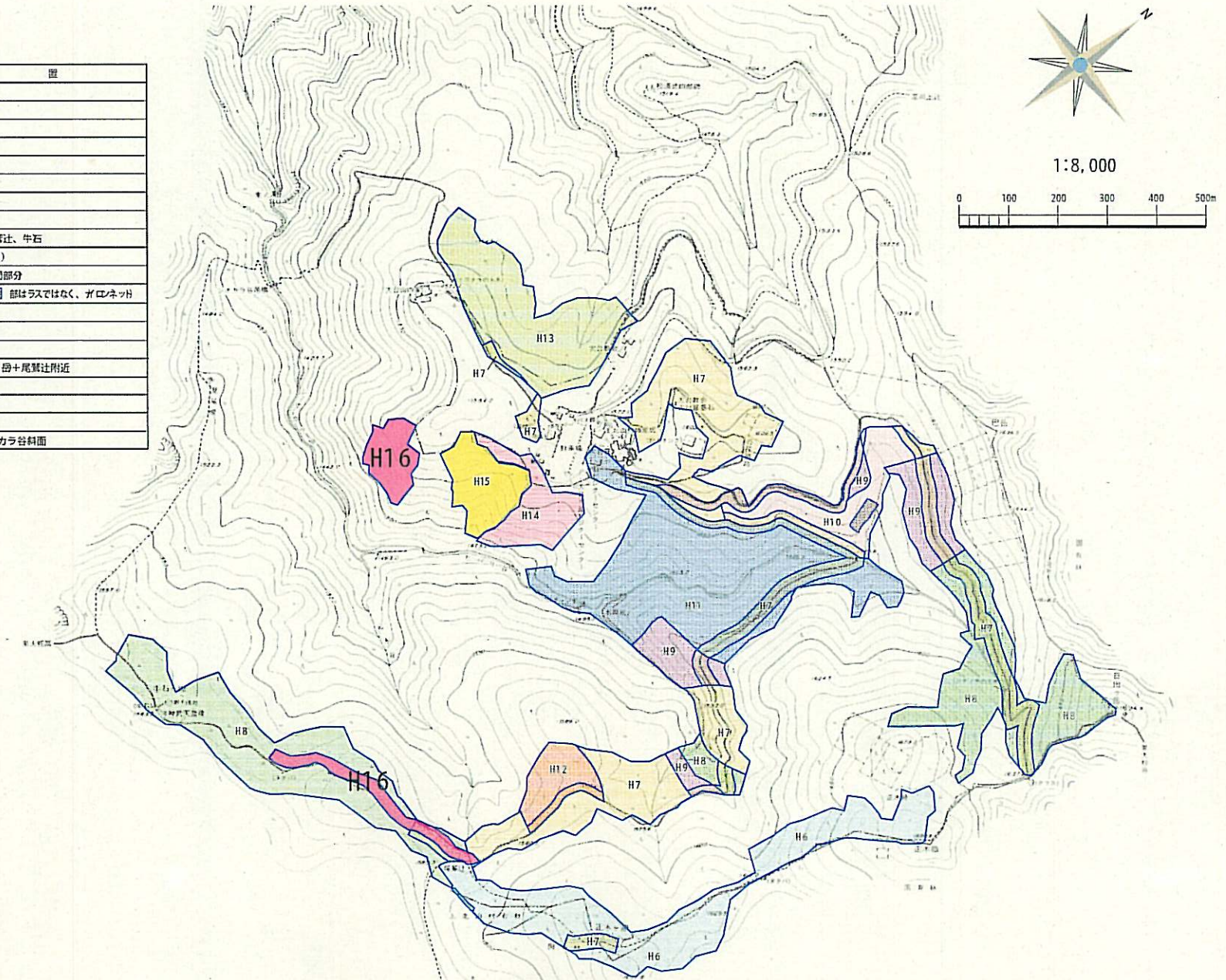


図2 単木保護対策実施位置図